

AMPC

NO. 13

AMERICAN MOTION PICTURE CLUB



1周年特別記念號

BARBARA STANWYCK



祝一周年



アメリカ映畫の文化の泉

セントラル・モーション・ピクチャア
エクスチェンジ

東京都港区芝田村〇二ノ一五(兼坂ビル)
電話(五七)三六・六六・五四二五

キネマ旬報

映畫ジャーナリズムの
最高權威

キネマ旬報同人編集

キネマ旬報	旬刊
業界特報	旬刊
アメリカ映畫	月刊
映畫春秋	月刊
映畫物語	月刊
スクリーン・ステージ	月刊
月刊スクリーン・ステージ	月刊
映畫グラフィック	月刊

キネマ旬報發行所

東京都中央区新富町二ノ一六
電話(五五)一九三〇・二三〇五

A.M.P.C. 一周年記念特別號(第13號)目次

天然色映畫はなぜ輸入が少ないか
アメリカ映畫の榮養素
アメリカ映畫の特徴
俳優の重要性について
映畫のみかた
夢と愛情と
表紙の人 バアバラストンウィック
一周年のことば
映畫館探訪記
映畫研究團體に望むもの

・紹介映畫・

セントラル支配人	田村幸彦	(2)
セントラル宣傳部	高梨義顯	(3)
セントラル宣傳部	土屋冬彦	(4)
キネマ旬報同人	北川彰	(5)
キネマ旬報同人	山登川	(6)
キネマ旬報同人	山口直樹	(7)
山登川	偏理	(8)
山登川	木明子	(9)
山登川	天傳	(10)
山登川	真弓三十五	(11)
山登川	将大映	(12)
山登川	生きている畫像(新東寶)	(13)
山登川	我が生涯の輝やける日(松竹)	(14)
山登川	イワシ	(15)
山登川	雷帝(ソビエト)	(16)
山登川	興行成績一覽	(17)
山登川	業務日誌	(18)
山登川	會計名簿	(19)
山登川	會計報告	(20)
山登川	A.M.P.C.規約及スタッフ	(21)
山登川	編集後記	(22)

A.M.P.C. 一周年總決算

編集後記

天然色映画は

なぜ輸入が少いか

田村幸彦

アメリカでは現在作られる映画の約一割八分位がテクニカラーによる天然色映画であつて、音楽レビューも、或いは美しい衣裳を見せる時代ものなどは、殆ど色彩で撮影されている。テクニカラーと言うのは、テクニカラー會社が特許を持つ色彩映画法であるが、アメリカにはこの他にも幾つかの色彩映画法がある。シネカラー、トルウカラー、ヴァイタカラー、アンスコカラー等が、このなかでも有名であるが、テクニカラーが色彩的に最も進んでいるので、一流會社の色彩映画は殆ど全部テクニカラーで撮影される。

テクニカラー法と言うのは、カメラの中に三枚のネガを装備し、赤、緑、黄と三枚のフィルターを使つてレンズから入る光線を三原色に分解した三つのネガを作り、これからマトリスと稱する母型を作り、それに繪具を塗つて、一枚のフィルムに色を重ねて轉寫することによつて色を出す方法である。簡単に言へば三色版の印刷に非常によく似ていて、だがこの方法は特別のカメラと、特別の現像所が必要で、ハリウッドの各社はテクニカラー會社から一々カメラを借り、プリ

ントはテクニカラー會社の現像場に頼んで作つて貰わなくてはならない。

これが普通の黑白映画であると、十、でも十五本でも必要な数のプリントは内地で作ることが出来るからアメリカは版と、プリントを作るボジ・フィルムを送つて来るだけで済む。ところが、テクニカラーとなると、前述した通りに一々プリントをテクニカラー會社に注文しなくてはならないし、プリント代も黑白映画に比べて四倍もするのである。然もこのプリント代はドルでテクニカラー會社へ、支拂わなくてはならない。現在日本からアメリカへの送金は許可されていないから、幾ら内地で圓を稼いでも、これはドルに換える事が出来ないものである。だから日本へテクニカラー映画を送ろうとすれば、アメリカの映画會社は一本千ドル以上もする、プリントを何本か現金を立替拂いしなくてはならない。それが今迄テクニカラー映画が我國に輸入されなかつた理由である。

だが我國でテクニカラー映画を要望する聲は非常に高い。アメリカの映画會社は、我々にテクニカラーによる、映画娯樂を與える爲に、莫大のドルを支拂つて「ステート・フェア」を送つて來た。そして來年は、少くも四本の新しいテクニカラーが輸入される見透しがついたのである。

テクニカラー映画に日本字幕をスーパーインポーズする爲には、プリント代の外にさらに、何百弗かの現

金を必要とする。こればかりでなく、テクニカラー會社は能力以上の注文を受けているので、日本のために特別手のかかるスーパーインポーズ版を簡單には作つてくれないのである。

アメリカ内地の封切プリントでさえも、撮影完了後十ヶ月から一年位も掛る程仕事に追われている現在、戦前のようにテクニカラーにスーパーインポーズを入れることは不可能に近い。さればと言つて、打抜式による日本字幕を入れたのでは、折角の美しい画面を傷けた上に、プリントの壽命を著しく、短かくしてしまふ。従つて、我國で公開されるアメリカのテクニカラー映画は、當分字幕なしと言うことになりそうである。その代り複雑な筋のある映画は避けて、レビュー映画のような、誰にでも判る内容のものが、選擇される筈である。

アメリカ映画の營養素

高梨義顯

米軍が日本に放出した營養食糧を正しい調理法を知らないで、間違つた食べ方をして、せつかくの營養素を血と肉にせずに終つた例もあつたが、本當に残念であると思ふ。

これと同じ様にアメリカ映画のもつ重要なエキスを

氣付かずに、たゞ表面的に映つた劇なり、ストーリーのみを楽しむだけで終らせてしまつては、意味ないばかりでなく、實にもつたいない、何故ならば、アメリカ映画は、その内面に現在我々が學び得ねばならぬアメリカン・デモクラシーを、生々と具体表現をもつて描き出しているからである。

映画のもつ第一條件である娯樂味を失はないで、倫しませ乍ら、生きたアメリカの姿とデモクラシーを、社會的にかみくだいて、誰にでも解る様に全篇ににじみ出しているのである。人類進歩向上の精神と、人間尊重を、自由、平等、友愛の三つの型の中に生かして、脈打つ人間的な美しさと、温かさ、明さをもつて、萬人の希望である「幸福な人生」への鍵が映画の隨所に轉つているのである。

抽象されたアメリカン・デモクラシーの思想が、どんな具体表現をとつているか……を見て、數多い表現形式から日本の現實生活に、誤りなく浸透させる正しい實態を學び得る事が、アメリカ映画鑑賞の重要な點であり、又美點であると思ふ。

アメリカ映画の背景に描かれた科學性・合理性・社會制度・生活様式・風俗習慣・等々、我々のとほしい世界常識を高めさせる要素はいくらでも吸收出来る筈である。

勿論、アメリカ映画は我々對して教訓的なものを強要もしないし、思想・生活様式の變化をも無理押付

たつて、充分な養料を吸収したいものである。

アメリカ映画の特徴

セントラル、モーションピクチャ
エクスチェンジ、レクチャア

士屋太郎

本誌の一週年記念に、A・M・P・C 会長鈴木健明氏が役員諸氏と上京され、是非アメリカ映画に關するところで寄稿してくれとの御依頼を受けた。各地方よりの依頼を受けてゐるのだが、講演の旅に追はれてゐると、秋のアメリカ映画祭を控へてのことなので、お断りしたいところだつたが、御熱心なので筆をとることにした。

世界各國にいろ／＼言葉があり、それ／＼の國民性がある様に、映画にも、その國特有の特徴がある。私はアメリカ映画の特徴を述べたのですが、その前にアメリカ映画が一年、廿億ドルの資本を投下する五大産業の一つである程の大企業であり、アメリカの映画人が社交界の花形で、その動きが新聞のビッグ・ニュースとして大きく紙面を割くといふ、この簡単な社會性の事實こそ、アメリカ映画を特徴づける重要にして且基礎的な形ではならないことだと私は思ひます。比處で私は、アメリカ映画の特徴を外面的特徴と內面的特徴の二面に分けて、私の考へをまとめたいと思

けするものでもない、あくまで生活への樂にその目的があることを強調したい、アメリカ映画の本質は教へることにあらずして、あくまで樂しませることであり、又樂しみの中に生命への歡喜があり、明日へのよりよき糧ともなることである。

映画の正しい觀方の第一は、先づ日本人の悪いクセである、深刻グセと色メガネで見ないことである、日本の實生活と比較して當然生ずるギャップを、無理に當てはめ様とするから、誤つた批判を生じ、本態がつかめないで、たゞ鼻國的排斥と、サル眞似が起きるのである、兩人種の國民性からくる、ハンデギャップを充分に考慮に入れて、素直な氣持で、肯定的に一應アメリカらしさを、味つてみる必要があると思ふ。

文化人とは最高智識を學び、立派な服を身につけて近代住宅に暮らすことではない筈である、それはエチケツトを身につけて、教養あり常識ある明るい希望の生活をするのである、素晴らしい紳士のスタイルでも、無性髯を生やして、常識的な社會道德感へ守れない様では、文化人とは言えないのではないかと思ふ。知つていても、仲々實行出来ない日本人と、すべての點で理想をドシ／＼實行に生かしてゆくアメリカ人との生活の相違を、スクリーンの上から、批判し、吸收することが、現在の我々日本人の急務であると考へざるを得ない。

理屈をぬきに、愉しみ乍ら、素直な氣持で映画にひ

ひます。

(1) 先づ外面的特徴は次の三點に挙げられるのです。

(1) 題材の豊富なこと——即ち取材範圍が廣く、ヴァラエライに富んでゐるといふことです。

戀愛、友情、母性愛、西部、都會、地方、ジャングル、活劇、喜劇、音楽、レヴュー、メロドラマ、ロマンチック、スリラー、セミドキュメンタリー、文藝、歴史、傳記とジャンル別に見ても容易でない。それは前述の如くアメリカ映画が大企業であり、大規模であり、一年五百本以上も製作されてゐるからハリウッドでは専門の人員を配して、その題材を多種多様に各地各方面より求めてゐるのである。

世界各國のすみ／＼からそのローカルのふん圓氣を利用したりその國の歴史や事件を、出來事や人間の行動を、社會問題を映画化し、又世界各國の評判になつた小説を、當りを取つた演劇をハリウッドは映画にして行く。だからアメリカ映画の題材が豊富なのは當然である。而もその資本力に物を言はせて各國の有能の藝術家や藝人を招び、ヴァラエテイの多い、嶄新な映画を製作して行く。又それ故にこそアメリカ映画は國際的で、世界各國のファンから歡迎されるのである。

(2) 映画技術の優秀性

機械文明の國であり、科學萬能のアメリカで作られる映画が、技術的に優れてゐるといふことに異議を

言ふものがあるまいと思ふ。映画の機械性といふことは映画の宿命なのだ。近代科學の生んだ機械藝術の映画こそ、その藝術的發展も表現力の擴大も、機械科學の進歩と共に、日進月歩するものである。さればこそ、アメリカ映画技術の優秀性が、外面的特徴として大きくクローズ・アップするのである。

秀れた操作能力を有するカメラの動き、遠近移動感、距離感を與へるズーム・レンズ、ベラクティヴ・レンズの精巧さ、トリッキの効果を擧げる録音の素晴らしい、豪華なセツトやゼイタクなロケーションこれらが生むアメリカ映画獨有の輕快なリズムとスピーディ。更にはヘリコプター撮影機の完成により一層表現力を擴大することだろう

又「ステード・フェア」に見る色彩技術の進歩と色の質の美しさ——これらすべてのものが、スクリーン・バイにメカニクに驅使されて、我々の眼を樂しませてくれる。アメリカ映画の技術こそ、ハリウッドを映画王國たらしめる大きな特徴であり、我々には大きな魅力となつてゐるのである。

(3) 脚本構成の様式化

映画のプロローグに於て、人物の性格環境等をバツ／＼と紹介し、劇的葛藤の展開し易い様に、先づ人物の設定に萬全を期す。そして終りは例外なくハッピー・エンドになること——このシナリオの様式化これこそ一年五百本の製作をする、ハリウッドの合

理的、能率的な生産を齎らすものである。だがこのコム・マ・シヤリズムの枠の中で、ライターは、よく藝術的な味を忘れず、又娯楽のエッセンスを盛り込み、エピソードを綴り、クリシスを配分して、今まで数多くの、各ジャンルの映画を作つてゐるのは、他國のそれと異なる、その優秀さを物語るものと考へられる。

而し余り多く製作されたハリウッドでは、そのオリジナリテイの貧困とか、マンネリズムを言はれてゐるが「我等の生涯の最良の年」「セントメリー」の如く、ヒュー・マニティに溢れたものとか「ラブ・レター」「赤い家」「毒藥と老嬢」の如きスリラ「ものや」「五番街の出来事」「三十四丁目の奇蹟」の如き、セミ・ドキュメンタリーものといふやうに、次々と新分野を開拓してゐること、全く驚異的といふべきであらう。又アメリカ映画が傳統的に世界に誇る活劇、音楽、喜劇のジャンルに於ても、その決りきつた様式の中で、常に新鮮な感覚で、他國の追従を許さないでゐるのは特筆すべきことである。以上題材の豊富、技術の優秀、脚本の様式化、これを外面的特徴として絶對的のものと思は考へる。これを次號で内面的特徴を取擧げたいと思ふ。

× × ×

俳優の重要性について

北 川 冬 彦

最近見た日本映画で、ともかくも見てたへえのあつたのは「風の中の牝鷄」。「わが生涯のかげやける日」。「生きてゐる画像」であつたが、残念なのは、いずれも大切な俳優がうまくないの、惜しいと思つた。「風の中の牝鷄」では、佐野周二が「わが生涯のかげやける日」では山口淑子が「生きてゐる画像」では、大河内傳次郎が、うまくなかつた。それぞれ重要な役だけに惜しいのである。佐野周二は、田中絹代に、山口淑子は森雅之に、大河内傳次郎は笠智衆に、押されてしまつたのである。

その演技力に格段のひらきがあるのは、資質の上から、どうにもならないことかもしれないが、作品の中での演技のガタ落ちは困るのである。佐野周二の場合、シナリオにも責任はあつたようである。シナリオで性格描寫が出来ていなかったのだから、むずかしかつたことはたしかであらう。それに小津安二郎の注文が、内面演技にあつたと言ふことだから、尙更むずかしかつたのであらう。しかし、佐野周二としては勢一杯の努力であつたことは認めていい。

「わが生涯のかげやける日」の山口淑子は感心しな

見るより外はない。

「わが生涯のかげやける日」の森雅之が、山口淑子と同じ吉村公三郎の演技指導法によりながら、生き生きとしていたのは、森雅之の演技力の優秀さを物語るものである。

「わが生涯のかげやける日」の森雅之「生きてゐる画像」の笠智衆「風の中の牝鷄」の田中絹代、これらは、最近の日本映画の演技の收穫だと云つてよいのであるが、これにしても、それぞれの作品に、重要な人物の演技の欠があることは、もしも、これらの欠が埋められていたとしたならば、これらの映画が一段と光彩を放つたに違ひないと思われただけに、俳優の重要性は近時、目立つてきたと云ふことが、出来るのである。

映画のみかた

登 川 直 樹

「生きてゐる画像」の大河内傳次郎は「わが生涯のかげやける日」の山口淑子ほど困つたものではないがしかし、牧野虎雄（この人物のモデルであると言われている）の風格にはほど遠い。一應大河内傳次郎の持つてゐるユー・モアの味は出ていないことはないが、獨自な画家の飄逸味はない。この作では笠智衆に、演技力を越えた人間的味わいがあつたのである。

「風の中の牝鷄」で、同じ小津安二郎の演技指導法によりながら、佐野周二、村田知英子が假面化したのに、田中絹代は内面的裏付けのある人間像を浮び出し得てゐる。それは田中絹代の優れた演技資質によると

「映画はどういうふうに見たいのか」「映画を批評する態度は！」「映画の観方は！」……こんな質問を私はしばしば受ける。ことに地方の熱心な映画愛好者は、しきりに答をもとめる。近頃では、地方へ出かけるたびに、またあの質問に答えなければならぬと思ひながら、どういふ答をする事になるだらうと思像する。

というのは、この同じ一つの質問は、はなはだ簡単であるが、その意味は決して同じではないからであり、従つて答えもその質問の意味によつて、當然變つて来るからである。「映画のみかた」それをたゞ一言で云えというのは無理な話である。それはちやうど「人間の生きかた」を一言で云つてみるというのと同じだからである。

映画のみかたは人間の生きかたと同じ程度ではないにしても、到底一日で語りつくせるものでなく、それで十分一巻の書物にも出来れば、一年の講義にも出来る様になる。非常に大きな問題であることは否定できない。

それで一番手取早く、しかも無責任にならない答えをしようとしたら、まず「ではあなたはどんな映画が、いゝと思つてゐるのですか、たとえば具体的に作品をあげて下さい」とこちらから反問して、その人のこれまでの映画のつかみかたを一應きいた上で、その態度によつて、一番問題になる點を解きあかすといふのが一番いいと私は考へてゐる。そうやつてその人に應じた、レヴェルでものを言わなければ、万人に共通な一言で片付く筈の問題ではないのである。

つまり、そこに最大の誤解がある。映画の見かたは野球のしかたとか、料理の食べかたとかいつた類の、いわゆる「法則」を知れば上達するといふものではない。感じるべきものを感じてればそれでいい。感じと

り、けなすことばかり考へても、素直な自分の感じを偽つていたのでは、いつまでたつても本當の批評は生れない。つまり、素直に感じること、それを無視しては、映画のみかたは存在しないのである。

夢と愛情と

山口 偏理

雨が降つてゐる。しう雨は敗都の佗びしい人々のうらぶれた心を優しく濡らして呉れる。懐かしい雨の中を「巴里祭」のメロデーを口づさみ乍ら歩いてゐると目の前のぬかるみは、何時か巴里の下町のペーヴメントに變り、懐しいアナベラの面影を追つてゐる。雨の巴里革命記念日、お祝ひのゴム風船が飛び、景氣のよいシヤムベンの音、そして露天舞踏會のやわらかなリズム。トキー初期の諷刺詩人ルネクレールの好んで描いた、巴里の下町の中に咲いた可憐なもの、様な花賣娘アンナ。

生者必滅、會者定離、戀のさだめの果敢なさと純情な若者たち。僕は「巴里祭」を想ふ度に、日本映画の夢と愛情の失調症に、うそ寒い氣持に襲われるのである。そして此のクレールの作品にしても、今更乍ら映画藝術の持つ、永遠性について考へさせられるのである。

るものも、人によつて違ふ筈で、こう感じなければならぬという規則があるわけではない、だから、強いて映画をみるための心構えとでも、いうべきものをあげるなら、見落しをしないことで、すべてを感じ取らうとすること、という以外に言い様がない。そして、自分で素直に感じたものがあれば、それで十分なのである。

自分の心に素直に感じたものは、批評家がその映画について、雑誌に書いてゐる事などとは非常に違ふかも知れない。然しそれでいいのである。それを、批評家が悪く言うからといつて、無理に何でも見くびる様な、アラさがしや悪口をいう稽古をしても、それで批評家の観方に通じるわけではない。

もし批評家の様なみかたになりたければ、批評家の感じるものと、自分の感じるものとの間にどれだけ相違があるかを考へ、その相違はどこから生れてくるかを、よく考へてみることである。そうすれば、自分の感じかたの欠點や、自分が感じなかつた見落しに氣がつくだらう。それを重ねて行くうちに、次第に感じかたが變つて来るし、見落しが少なくなつてくるわけである。

くりかえしていうが、映画のみかたは、どうといつて格別「ルール」の様なものがあるわけではない。あるといへば唯一つ「自分の感じかたに忠實であること」だけである。いたすらに批評家の恰好を眞似した

「映画は時間の藝術」である。と云うことをよく言われるが、最も代表的な綜合藝術たる映画は、一應時間の藝術であるが、最近發表される暴露映画（傾向映画等と稱する）には、餘りにも安手に過ぎる。戀愛映画を見れば、果たして映画の持つ時間を意識してゐるのが疑はしいのである。言い換へれば餘りにも甚だしい時代錯誤の横行である。

試みに古いフアンは「モロツコ」「巴里の屋根の下」などの作品を想ひかえしてみよう。勿論人間の記憶力等は極めて好い加減なのではあるが、尙あれらの作品の數々のシーンは、明確に脳裡に描く事が出来るであらう。映画の藝術的な面のみからして言へば、十數年の時間的なズレはどう最負目に見ても、過去のものとしての價值しかない筈のこれら作品が、最近の日本映画より、更に高く迎えられるのは、何故であらうか。それこそ十數年の時間的距りを超越する、不測の映画愛と、しつように喰ひ下る映画美、そして夢と人間性への探求があつたからである。

更に轉じて昔日の日本映画界を回顧すれば、東京發聲に倚つた豊田四郎などにより、一時流行した文藝作品の映画化も大衆の爲の映画といふ、見方からすれば必ずしも、正しい行き方ではなかつたかも知れないが少くとも、そこには文學と云う、象牙の塔への眞摯な映画人たちの挑戦があつた。小市民物と名付けられた一連の松竹大船物には、グルミミミな諸觀があつたが

それでも、其處には生きた人間が呼吸してゐた。

日活多摩川の泥くさい迄のリアリズムは、小杉勇と
言う得難い俳優を得て、日本映畫史上に輝ける幾つか
の星を残した。山中貞雄、稲垣浩、伊丹万作等、時代
劇の曉將連のものした、ジョン・マゲのベシズムと劍
のファンタジーと、そして道中笠のノスタルジア。こ
れらの作品には貧しいけれども、限らない明日への戦
いがあり、歐米の優れた技術を吸収せんとする、慫れ
た様な眼があつた。

それ故こそ當時の日本映畫は、一部の批評家達から
継子扱いにされ乍らも、兎にも角にも時代を吸収し、
時間を刻み、生長して來たのであつた。ファンは不安
である。責任の裏打ちのない自由と云うことが、近頃
よく云はれるが、寔、これは現在の日本映畫の爲に造
られた言葉と云つて酷であらうか。

こゝ四、五年間は戦争とそれより生ずる弾壓で、全
く日本映畫は空白の状態であつた。最近公開されるア
メリカ映畫を見ても、技術的には既に峠を越した感が
あるが、熾烈なるリアリズム追求の手は、一層に激し
くなつたことが感ぜられるのである。

(山口偏理氏の「夢と愛情と」より)

十
十
十

一周年のこゝば

A M P C 會長 鈴木 傳 明

常識的に考へて、無から有を生むと云うことは一應
否定されることであるが、世の中というものは凡てが
無形のものから限りなき有を作り出して、人間生活の
糧ともなり、明日への飛躍源ともなるものが智力であ
り思想であり、文化建設への熱源である。

わが町にA M P C が生れた事は全日本的に觀れば小
さな芽生えかも知れないが地方文化の水準を高揚した
意義は大きく將來への期待は非常に大きいものである
終戦後所謂文化運動が澎湃として起り文化団体の
誕生擧げに追なき數を示した、結局龍頭蛇尾に終
り、發展の一路を突進してゐる文化人集團の勢き中
にわがA M P C は少數の青年達の意欲が結晶して一ヶ年
の苦闘を経験し、會員三百余名を収めたる現況は地方
文化團體として大いに誇り得る功績とも云えよう。

殊に縣下は勿論のこと、東北に於けるA M P C の活
動は他の文化青年達をいたく刺激し、最近ではわがA M
P C にならつて、集りを作るもの多きに驚き、慶賀に
堪えない次第である。仕事は何事によらず共通の苦
境を経験するものであるが、一、二、三という數字が
折角得た「有」を「無」にする場合と、又は四、五、
六——と發展する場合とに、不思議な關係を持つもの

表紙の人 バアバラ・スタンウイツク

BARBARA STANWYDK

1907年7月16日 ニュウヨーク、ブルックリンに生る。
幼少よりダンスを學び、キャバレーを最初とし、ミュージ
カルの舞臺、ジグフェルド・フォリーズ等を経て、1929
年女優となる。ロバート・テイラーと結婚。御圓滿であ
る。出演作品は 奇蹟の處女、たそがれの女、愛怨二重
奏、大平原、ゴールデン・ボウイ、肉体と幻想、三人姉
妹等約五十本に上り、悲劇によく、喜劇によく、その藝
の幅の廣い點ではクロード・コルベールと双壁と云
へる大女優。最後に彼女の座右銘を紹介します。
「大切なものは、人生ではなく、人が人生に與へる勇氣
である」

映畫館探訪記

告 天 子

戦争が終つてから新らしく建つた映畫館がある。昭和二十年十一月東京の一流建築師の設計によつて、驛近き元平劇場跡(この土地は數十年來空地になつてゐた)に新築された世界館と戦災復興の意義を持つた紺屋町の平東寶である。世界館はもと有聲座と稱し、驛前にあつたが鐵道近傍建築物取拂ひのウキメにあひ、一時休業状態にあつたが館主鈴木寅次郎氏の熱願はスマートな近代式の姿で再現された。當時一〇〇万に近い巨費をもつて、晝夜兼行その甲斐あつて、收容人員三八〇、高七〇〇の堂々たる、大映專門館である。十二名の従業員は少い

方ではない。大休平日四館共十名前後であるから。建物は特に廊下が廣く、設計され、又驛に近い爲もあつてか街の青年の姿も多かつたが、最近は大分少くなつた由。物資不足時代の建築として、椅子とWCの設備が少しお粗末だが、近く改造すべく、準備中であると云ふ。

平東寶は有限會社民衆劇場と日新興行株式會社の賃貸契約により、昭和二十三年一月より縣南地區東寶映畫封切館として再發足、東寶、英國及東寶配給國映畫を上映してゐる。椅子の設備は四館中、下位であるが、收容人員は五〇〇、高八〇〇といはれる。

大正六年の建築物と云つてもおわかりにならぬかもしれないが、平館がそれである。昔は日活映画、現在は松竹専門館であり、資本金五〇万、本社を東京に有する平和興業株式會社(社長島田勝吉氏昭和二十三年五月改組)の經營である。二階の椅子席の特殊な事は平館のみであらう。收容人員四九五最高は一〇〇〇と稱してゐる、大正六年の建築に驚いてゐると、そのまゝ上をゆく建築がある。それはセントラル契約洋画專門館として平市の誇る聚樂館が修理改裝されてゐるとは云ふものの、驚く勿れ明治三十九年の建物である。飯田近治氏の經營になり昭和十三年迄は劇場として、二十二年二月より洋画ファンの忘れられぬユートピアとなつた。椅子席三八〇定員八一最高は一〇〇〇と聞く。機械設備はローヤルL型を備えトキー設備もおそらく市内一であらう。WCの設備は東京は有樂町映画殿堂日本劇場を倣して作られたタイル張で、特に婦人用は特別に考慮されてゐるが、それに事に氣が付く男性は少いであらう(ウソだと思ふなら一度のぞいて御覽)場内設備装置は世界館と聚樂館がよく、次週上映番組案内も美しく、休憩時間の目をたのしませる看板は世界館、平館共に佐々木秋峯氏、聚樂館は平A D社土屋正二氏、平東寶は三本松氏の三ツ巴コンクールとも言つてもよい程、毎週新しい傾向を示してゐる。

宣傳廣告は近代的民主的な聚樂館が第一位であり、

映畫研究團體に望むもの

眞弓 三十五

AMPクラブもこのバックがあつてこそ發展し得たとつくづく想ひ出される。邦画部門に於てもAMPクラブの様な勉強する會が設立される事を望んでゐる館があるが、これは近き將來強化發展してそのサークルが誕生する事が期待される。映画と生活を直結して文化的な生活環境にひたる事にめぐまれている平市は、以上四館の常に優秀番組編成の努力により、なほ一層向上するであらう事を望んでスピード映画館巡り第一巻の終り。

世界館 白銀町四ノ一 (電五八)
平 館 南町七〇 (電四六六)
聚樂館 才樋小路九 (電四六〇)
平東寶 紺屋町四二 (電九二〇)

映画が發明されて、僅々五十七年の間に現在の如き發展を見たのは、製作者達の携へた努力のたまものとそれにともなう映画の持つみりよくが大眾を引付けた事が最たる原因ではあるが又一般大眾の、映画に對する研究と、觀賞眼の向上がそれに若干の力を與えて居る事も確實である。

明治二十九年の十二月に我が國へ映画が輸入されたのだが、其の當時の一般大眾の映画に對する關心は物凄なものだつた。それは物珍らしい、單なる見世物としての、いわゆる活動寫眞として見ただけでなく、映画を通じて少しでも早く、

歐米の文物に接しようとする、智識欲がそうさせたのである。

振返つて今、終戦後に新らしく出来た私達の、映画研究團體の事を考える時、其の氣構に於て、其の熱心さに於て、明治のフアンに劣る様な氣がするのだが、私一人だけの杞憂だらうか。

終戦後、文化運動が盛んになつて、どんな山の中にも、文化會や青年會が出来て、流行病の様に、文化運動は廣まつた、もつとも本當の意味で、此れが文化と言へるかどうかは疑問であるが、其の波に乗つて映画研究團體なるものも、随分

と數多く現れた、平地方だけでもUCCO(内郷町)YCCA(湯本町)藝術クラブ(平市)AMP(平市)平高校映画教育連盟等大きなものだけ拾つても五つ程ある、其の他各工場、炭礦會社等の文化部の中の、映画研究團體も加へれば、相當の數に上ると思うが、これらの映研、他の一般文化團體が解散し、或ひは名稱はあつても、實際に活動して居ない文化團體がある様に、現在まで活躍して居るのは、AMPとUCCOと平高校映画教育連盟の三團體で、各工場、各會社等の映研の活動も皆無と言つて良い様な現況である。

前述した様に映画が、一般大眾の間に何物にも勝る魅力を持ち乍ら、何故にそれを研究する團體に永續性が無いのだらうか、種々な

點が上げられると思うが、次の三點が主なる原因の様に思はれる。

- 1 映画が他の諸藝術と異り、豫備知識が無くとも苦勞せずに見られる
- 2 それを運営する委員の一人合點による浮調子な運営
- 3 資金の問題

映画をもつと面白く見る爲に、そう見てもらう爲に、會を組織する、各人の自覺こそ大切なのだ……

×AMP C……一番今の所會員の數も多い様で又内容も割と充實して居る様だ、毎月二回の試寫會を持ち、月一回の機關誌の發行は大したもの、委員の努力をかう、だがうぬぼれてはいけない、アメリカ映画の持つ魅力と、樂樂館の援助が相當以上にある事を忘れるな。

×UCAC……映画界に居つた濱崎氏が中心になつてやつて居るらしいが、中々經費の面で思う様に行かず、最近會員の整理を行つたそうだが、くだらない會員が百人よりも實際に、研究しようとする人の十人の方が勝る。今後の活躍こそ期して待つものがある様だ。

×平高校映画教育連盟……市内の高等學校の生徒達を對照としての研究團體らしいが、若い映画ファンに、これを指導されて居る方の、正しい指導を望む。

以上の三つの團體に特に望む事は、映画は成程、見ると云う事が第一であるが見た後で何等かの批判研究を加える事は、必ずして戴きたい、其の場合委員並に指導者の通ぶつた批評は絶対に

對禁物……會を組織する事は、映画を安く見る事の便法であつてはならない。

新聞 社會

記者志
俱樂部

本位 理髮

前
宮川理髮所

司 壽 松

通中央市平

茶 喫 交 社

ル パ ン
TEL 666

映 画 紹 介

我等の生涯の最良の年

サミュエル・ゴールドウィン映画
製作……サミュエル・ゴールドウィン
監督……ロバート・E・シャイ
原作……マツキンレイ・カンター
撮影監督……エミール・ニューマン
音楽監督……

【配 役】

ミリー・ステイヴンソン……マーナ・ロイ
アル・ステイヴンソン……フレドリック・マリーチ
フレッド・デリー……ダナ・アンドリュウズ
ベギー・ステイヴンソン……テレサ・ライト
メーリー・デリー……ヴァージニア・メイ
ウィルマ・カメロン……キャシー・オドネル
ブツ・イングル……ホーギー・カーマイケル
ホーギー・デリー……ハロルド・ラッセル
ホーギー・デリー……グラデイス・ジョージ
バット・デリー……ロマン・ボレンス
ミルトン・デリー……レイ・コリンズ
ホーギーの母……ミナ・ゴムベル
ホーギーの父……ウォルター・ボールドウィン
クリフ……ステイヴ・コクラン

『梗 概』

フレッド・デリー航空大尉は郷里ブリン・ステイに歸還の途中、アル・ステイ・ブリン軍曹とホーギー・バリー水兵の二人の歸還兵と同じ飛行機に乗り合わせた。飛行機の中で親しくなつた三人は、他日ブリン・ステイのブツの酒場で再會を約し、フレッドは出征前に結婚した妻の許へ、アルは妻子が待ちあぐんでゐる家庭へ、そしてホーギーは戀人のもとへ夫々歸つて行つた。

戦場で兩手を失つたホーギーは義手のことが氣になつていたが、兩親も妹のルエラも戀人のウィルマも彼の歸りを喜んで迎えてくれたものの、彼の兩手を見て彼等は異様なシヨックを受けたように感じられた。アルも家族の者達に歓迎され

た。妻のミリーは以前と同様に美しかつたが、長女のベギーは一人前の娘に、長男のロブは青年に成長してゐた。アルは無事歸還を祝うためミリーとベギーを連れて夜の街へ遊びに出かけた。

フレッドは飲んだくれの父親と繼母から、妻のメーリーが彼の出征中ナイト・クラブで働いてゐることを聞かされて早速彼女を探しに出かけ、ブツの酒場でホーギーと再會した。ホーギーは自分をいたわつてくれる家族の人々の心盡しが堪まらなくなつて酒場へ逃れて來たのだつた。そこへ妻と娘を伴つたアルが現われた。其の夜はフレッドとアルはすっかり酩酊してつたので、ミリーとベギーはフレッドを我が家へ連れ歸つた。その真夜中惡夢

にうなされるフレッドをベ
ギイが救つたことから二人
は親しい仲になった。
フレッドは或る日遂に妻
のマリーを探し出すことが
出来た。そして彼の元の職
場の薬屋に歸らない積りに
なつた。出征前から銀行家
だつたアルは副頭取の地位
に昇り、歸還兵を對稱とす
る金融關係の仕事を受持つ
ていたが、銀行の方針にあ
きたらない氣持を抱いてい
た。ホーマーは失つた兩手
のことを氣にやむ餘り、戀
人のウィルマが憐憫の情か
ら自分を愛してくれるもの
と思ひすとして、彼女に求
婚する勇氣を持たなかつた
メーリーは元來派出好きだ
つたので貧乏暮らしには甘じ
られず、フレッドは再び藥
屋の職場に戻つたがその仕
事には不満だつた。彼のこ
の氣持をなぐさめてくれる

のは時々店に現われるベギ
イだけだつた。そして二人
は愛し合うようになった。
た。
或る日ベギイはフレッド
とメーリーを晚餐とダンス
のパーティに招いた。ベギ
イは自分の戀を若い娘が男
性に寄せるロマンチックな
思慕の情に過ぎないのでは
ないかと考え、二人を招く
ことによつてフレッドへの
戀情を忘れようとしたのだ
つたが、結果は却つて眞實
の戀であることを悟り兩親
に打明けた。それは父親の
アルを憤慨させた。彼は怒
りを抑えて、もう二度とベ
ギイに合つてくれるなとフ
レッドに言い渡した。フレ
ッドもアルの心中を察して
一切を忘れようとベギイに
語るのであつた。
或る日フレッドの藥屋で
ホーマーは質の悪い客と口

論になつた。フレッドは見
兼ねて客を撲り倒してクビ
になつた。ホーマーはフレ
ッドに本當に濟まなく思ひ
心を痛めるのだつたが、フ
レッドはホーマーに頼みが
あると云つてウィルマに求
婚するよう彼に約束させた
ウィルマの兩親は彼女をホ
ーマーから引離そうとした
が、彼を心から愛していた
ウィルマはその求婚を承諾
した。
その中にフレッドは妻の
メーリーがクリフという男
と忌わしい關係に陥入つた
ことを知つた、ベギイを失
い職を失ひ今は又妻を失つ
たフレッドはブリンシテイ
に留る氣持になれなかつた
そしてホーマーが自分の結
婚式の附添役をフレッドに
頼もうとした時には彼は既
に町を去つていた。
ここは或る飛行場である

フレッドは廢棄された爆撃
機の間をさまよつていた。
彼は爆撃機の一つに乗り、
かつて生命を託して出動し
た當時の憶出にふけるのだ
つた。そしてたま／＼此等
の機が建築材料になること
を耳にしてその建築會社に
就職した。
ホーマーの結婚式の當日
フレッドもアル夫妻も列席
した。今ではアルもミリー
もフレッドの良き理解者で
あり同情者だつた、ブッチ
が結婚行進曲をピアノで奏
すれば、アルとミリーは彼
等の結婚式のことを憶ひ出
して互に顔を見合せた。ホ
ーマーが義手でメーリーの
指に結婚指輪をはめた時、
フレッドはふとベギイの姿
を認めた。そして彼女の顔
に浮んだ微笑を見て未だ自
分のことを思つていてくれ
ると悟るのだつた。

大映
映畫

王

將

企 畫 奥田 久司
原 作 北條 秀司
脚 本 伊藤 大輔
監 影 伊藤 大輔
照 明 石本 秀雄
録 音 湯川 四郎
音 樂 海原 幸夫
美術 西 梧郎
スチール 角井 平吉
製作擔當 齊藤 勲一
シナリオ・映畫藝術版 黒田 豊

×キヤスト×
坂田 三吉 阪東妻三郎
妻 小春 水戸 光子
娘 玉江 三條 美紀
學藝部長大倉 齊藤 達雄
内弟子毛利 大友柳 太郎
新 蔵 三島 雅夫
關根 名人 瀧澤 修
眼科醫菊岡 小杉 勇
後援者幹事 葛木 香一
小澤 八段 香川 良介
後援者幹事 近衛 敏明
幹事 津島 寺島 貢

『梗概』
新世界の通天閣を遠く眺
める大阪天王寺附近の高臺
の長屋に明治の末、無學で
はあるが常々、奇行と、將
棋の強い事で無類と評判の
坂田三吉と云う草履職人が
いた。

或日朝日新聞社主催の將

棋大會に出席した彼は、東
京側の玄人棋士數名に連勝
したが、最後に當時日の出
の勢にある關根七段と對
戦して惜敗した。思えばそ
れが三吉の一生を左右する
重大な契機となつたのであ
る。彼は本職の將棋指しと
なつて、いつの日か關根七

段を打破らずには、置かぬ
と決心し、果ては家業も妻
子も忘れて將棋に没頭する
に至つた。家計は益々苦し
くなる一方である。遂に愛
想をつかした妻の小春は、
娘の玉江をつれて家を出よ
うとまで考えたが、夫のひ
たむきな一念に打たれ、こ
の上は自分もよき協力者と
なつて、夫を日一の將棋
指しにしてやりたいと考え
た。三吉は妻の愛情に泣い
たその日から三吉の新しい
努力が始つた。
彼の眼疾を知つて治療し
てくれた醫師の菊岡を始め
次第に有力な後援者も現わ
れ、坂田三吉の名は世間の
注視を浴びるに至つた。か
くて雌伏八年、宿敵關根
(當時八段)といよ／＼對局
のその日は來た。三吉は見
事關根を打破つたが、十七
になつた娘の玉江だけは、

三吉の將棋がたゞ勝つ事の
みに捕われて品格の無いこ
とを指摘し、勝負には勝つ
ても將棋には負けていると
言い放つた。三吉は激怒し
たが、やがて己れの未熟さ
を痛感し、關根に遠く及ば
ざる事を悟るのだつた。
その後も三吉と關根はし
ば／＼對戦し、三吉は十一
戰七勝の好成績を擧げて、
次の名人位をつぐ者は、恐
らく三吉であらうと思われ
たが、意外にも新名人は東
京の關根八段と決定した。
その理由としては三吉の實
力は認めるが、知性教養に
欠ける點のある事を遺憾と
すると云うのである。それ
を聞いて小春や後援者は憤
慨したが、三吉はその言を
尤もと認めた。日本の將棋
を進歩させる爲には自分の
ような者ではだめだ。もつ
と立派な人物を名人に推さ

ねばならぬ。三吉はいつか私情を超越して敵を尊敬する事の出来る立派な人間にまで成長していったのである。

三吉は關根名人の披露宴にはる／＼と上京し、手製の草履を贈つて心からなる祝辭をのべた。關根名人は巨人の如き三吉を振仰ぎ「坂田さん、私は將棋ばかりでなく人間としても完全に貴方に負けました。名人になるべき人はむしろ貴方です」さう云つて心から頭を下げるのであつた。折も折、長距離電話は大阪から小春の臨終を傳えた。大阪へ歸つた三吉はたゞ一人なつかしい昔の長屋をおとづれた。

夕闇が迫つて通天閣にバツと灯が入つた。崖下を列車が通つて吹きあげる煙と蒸氣がキラ／＼と三吉をお

し包む。新世界の方から遠く高まつてくるジントの響き。三吉は亡き妻のおもかけをしのんで立ちつくした。その頬をとめどなくあ

株式会社新東寶作品 東寶株式會社配給

（飄人先生）より

生きてゐる畫像

※スタッフ※

監 督 千葉 泰樹
原作 脚色 八田 尚之
撮 影 河崎喜久三
照 明 下河原友雄
美 術 秋山 清幸
録 音 中井喜八郎
音 樂 早坂 文雄
編 集 長田 政信
製 作 武田 政信

※キャスト※

飄人 先生……大河内傳次郎
田西 麥太……笠 智衆
芒 銀介……江川宇禮雄
鶴井長太郎……杉 寛
鯉沼 一風……田中 進
南原 豊……藤田 進
すし 徳……河村 黎吉
お神さん……清川 虹子
青貝美沙子……花井 蘭子
文豪 A……久保 春二
文豪 B……沙見 洋
龍卷 博士……古川 緑波
制服の巡査……清川 莊司

『ストーリー』
美しい花を愛し、それを描いては畫壇の鬼と呼ばれた飄人先生はまた、洋畫壇の酒仙と云はれる程の酒のみで、生涯の女房として灘

の生一本を傍に置いていたそれを門下生たちは菊正夫人と呼んでいる程である。審査會の歸途に酒の氣がきれたつた先生が、ふと菊正の樽を見て寄つた、すし徳と云う、のみ屋の親父は頗る無愛想であつたが、その料理と酒に先生はほれて「日本一」と書を贈り、それから友達に紹介する程であり、親友の龍卷博士もその常客になつた。龍卷博士は飄人先生とは幼馴染で、先生が常に門下生から仲人を頼まれる時は自分が獨身であるとの理由で斷り、そのかわり龍卷博士に頼むのであつた。門下生の一人田西麥太は四十才になるが、まだ一度も入選した事がなく、今回も落選で帝展十四回虚元會八回と云う落選記録をもつてゐる。彼には青貝美沙子

と云う、よき理解者がおりその度に彼女に勵まされてゐるのだつた。二人はお互に愛し合つてゐる。そして先生に二人の仲人を頼みに来たが、飄人先生は、田西の繪畫への情熱が冷却するのを恐れ「もし一緒になつたら破門する」と宣告するのだつた。しかし二人はあくまでも一緒になると泣きながら訴え、先生も遂に、二人の情熱に一世一代の獨身仲人をやることを約束した。結婚式の日、先生は、「二人共、破門になつても一緒になると云う。並大抵の馬鹿ぢやないから、他の人には頼めないのです、俺が仲人になつた」とのべ、龍卷博士と腕白時代からコンビの、お神樂を踊るのだつた。

ひよつとこ面の先生と、おかめの龍卷博士が二人の

幸福を祝つて、おはやしに合せて、輕妙酒脱を極めて踊る。飄逸枯淡な兩人の踊りに、田西と美沙子は笑ひながら涙を顔中一ぱいに流した。美沙子が先生の家に寄る様になつてから、面白くないのは、すし徳で、あれ以来、先生に彼もほれ込んで酒の肴を作るのを獨占してゐたのが、美沙子に荒らされてしまったと思つてゐるのだ。先生も困つて、美沙子に家に歸つてもらうのだ。が、もう一つ、すし徳が繪で、繪筆をとる様になり、お神さんを困らせてゐるのだつた。その爲に店もおろそかになり、借金かふえる一方であつたが、このことをお神さんから聞いた先生は、色紙に花十二ヶ月を描き、贈つてそれで債務を片

づける様に云うのだつた。そして、すし徳には内緒に酒屋の支拂いをしてやつてゐる。帝展發表の日……。しかし田西は相變らず落選であつた。落膽した彼が家にかゝつた。美沙子はかえつて、十五回落選記念のお祝いだといつて、陽氣に彼の氣持を引立てるのだつた。或る日、先生の大切にしていた繪二點が紛失してゐた。すし徳は訴えるべきだと云うが、先生は失われた繪の飾り場所が變つただけだと笑つてゐたが、南原豊がそれを持つてゐることを知つたのは、巡査が訪ねてきて、彼が婦女誘拐の嫌疑で捕まつたからである。先生は彼にその繪をやつたのだと云い、内緒に彼を引取りに出掛けるのだつた。美沙子が妊娠してその上病氣をして、田西が困つてゐるのを見かねて、門下生一同が奉賀帳をもつてきたが、先生はわざと斷わるのだつた。或る日、田西の家に彼の繪を買いに鳴海と云う男が訪ねてきて、二點を五百圓で買つてゐた。二人は只茫然としてゐたが、早速、先生に菊正一本を贈るのだつた。やがて、美沙子が男の子を生んだが、難産のために死んでしまつた。田西は男泣きに泣いたが、先生は顔を「私達の求めている顔だ、美しいじやないか、よく眼にやきつけておくのだね」と彼に云うのだつた。帝展の發表の日が再び来た。美沙子を畫いた田西の繪畫が長い苦節が報いら

て、特選に入つたのだ。鳴海と云う田西の繪を前に先生に頼まれて買った男も三倍に賣れたと喜んだ。そして皆が思うのは美沙子が生きていたら、ということだつた。

田西の繪の前に立つた先生は静かな瞳を抱いてる赤ん坊と田西にやさしくそゝがれてゐる。まるで「今に立派な畫家になれ」と云うばかりに……。

わが生涯のかどやける日

▲スタッフ▼

製作 小倉 武志
監督 新藤 兼人
脚本 吉村公三郎
撮影 生方 敏夫
美術 濱田 辰雄

▲キャスト▼

沼崎 敬太 森 雅之
戸田 孝子 山口 淑子
佐川 政介 瀧澤 修
平林 達彦 清水 将夫
高倉 好雄 宇野 重吉
森山 泰次郎 加藤 嘉
戸田 光政 井上 正夫
みどり 村田知英子
逢初 夢子

『物語』
日本が新しく生れ變つて四年の歳月は流れた。敗戦の虚脱、政治の混乱、思想の混乱、社會不安、食糧難、國土をゆすぶる不安と動搖

の中からは、ともかく街に復興は始まり、人間も漸次復興して來た。時は嵐をまいて流れ去り來て、そして今年目の夏を迎えた。かつて軍靴のひびきを聞

いた大東京銀座の街に、今民衆の行進が行く。高らかに労働歌が叫ばれてゆく。しかしここ、銀座裏の明星ダンスホールの一ぐうには一人の、あお白い顔をした青年がぐたりと、イスに体をなげかけていた。一切の思考を放棄したような、ひとみの底に寒々とひそむ空虚な色。彼はかつて血氣にはやり、終戦前夜降伏を主張した重臣戸田光政を暗殺した、青年將校沼崎敬太の變れる姿である。あらしの如く吹き去つた四年の歳月が、彼の姿を一變させた。沼崎敬太は今ここに生きてゐる。しかしその魂は死んでゐる。ただ二の腕に残る傷あと、かつて戸田光政暗殺の時に、その娘孝子から受けた傷あとのみが、終戦前夜の悪夢を語つてゐる。

明星ダンスホール——そ

こに戸田孝子がいた。あの夜敬太の凶弾に父をたをされ、家を、父を失い、混亂の社會に冷たく投出された孝子は、まるで坂を轉ぶマリのように、たゞ一途に轉落の道をたどつた。生きるため、食うために闘いぬき女の最後のものまで失つた孝子は、絶望と自棄自でうの生活であつた。けれど一切の支柱を失つたような、彼女の最後の心の支えになつてゐるのは、姉の良人平林達造と、その家族の生活を抱えてゐることだ。もう一つ彼女の心の強固な支えは父をたをした沼崎敬太に對する止み難い復しう心だつた。

の、討たれるものと知らぬまゝに、二人の魂は次第に相寄つていくのであつた。佐川が孝子の頼みをきき、かつて鬼檢事といわれた平林を彼の新聞社に入れたのは、孝子をわがものにする目的からだ。そのとき佐川の身に思ひぬ危機がせまつた。かつて暴力により多くの民衆を殺傷した事實が明るみに出かかつたのだ。これに都下有有力新聞社會部記者高倉好雄が戦いを、いどんできた。佐川の新聞社に乘込んだ高倉はそこに、戦時中彼をろう獄にたゝきこんだ平林を見出した。これを知つた佐川は平林と高倉を決闘させ、平林の介添を敬太に強制した。平林がたうれば、孝子は敬太を憎み離れていくであらう。

真中。高倉と平林は對立した。平林は倒れその口から一切の事情を聞いた敬太は佐川にビートルを向けた。あなたこそ民衆の敵だ、ビートルは火をふき、佐川はたおれた。人民の敵はたおれた。しかし敬太は潔く自首を決心した。孝子に別れるため、また自分こそあだの男と呼ばれる男であるとな乗るため、敬太は彼女のアパートを訪れた「知つていました」何が悪いのでもない。あの戦いがこの様な運命にしたのだ。今日こそ敬太の生がいのける輝やける日なのだ。恩しうを越えて、かたく抱きあつた敬太と孝子。交す温い微笑、ゆく人も送る人もその顔は明るかつた。

イワン雷帝

『解説』

この映画は獨ソ戰の最中に中央アジアで三年半の日數をかけて、製作された超ド級作品ですが、脚色演出は巨人エイゼンシュテインで彼の全作品の撮影者として有名な、テイツセとモスクインがカメラを擔當した。作曲は世界的に有名な音楽家プロコフィエフで美術も

又映画装置の名手シビーネリと云ふ、ソ聯一流のスタッフである。出演のチエルカーソフはソ聯第一の舞臺俳優でいろいろの勳賞や、スターリン賞を持つてゐる。ヒロインのツェリコフスカヤは「モスクワの音楽娘」に主演した馴染み深い人だし、助演者もレニングラード劇

いま敬太がどこにゐるか知らない。しかし敬太と孝子は折にふれ、顔を合す同じ世界に生きてゐたのだ。運命の皮肉はあだを討つも

夜——無氣味な大東京の

鯨岡洋裁研究所

平市4丁目

早く納税して
明るい日本を
つくりませう

平 税 務 署

玉 壽 司

銀座通 電575

常磐炭業會

平市堂ノ前十一
常 磐 石 炭 内
TEL805・227

小西六製品
コニカ、セミパール、
ベビーパール

田中カメラ店

平3 TEL576

皆様の休憩室

平 會 館

平3・電624

文化都市を
建設ませう

平 市 役 所

平 市 政 革 新 會
同 志

TEL19

場の元老ビルマン「モスク
ワ音楽娘」で主演の男を演
じたカイドチニコフ「人生
案内」のジクロロフ「母」
や「アジアの嵐」の作者ブ
ドーフキン。等が顔を揃へ
てゐる。

『ものがたり』

イワンは若年にして即位
した。映画はこの戴冠式か
ら始まる。

然し當時の宮廷には帝位
をねらつてゐたり、人民を
煽動して暴動を起させよう
とする様な、悪辣な貴族や
僧侶が、權謀術策をほしい
まゝにしてゐたし、外敵は
ロシアの國に迫ると云ふ、
内憂外患の時代であつた。
イワンは親兵を組織してタ
タールと戦ひ、勝利を得る
が重い病に掛る。
貴族達はこの時と許り皇
后を毒殺してしまふ。

— 壽司の店 —

魚 清

平二・TEL633

衣 料 品、陶 器
ラ ジ オ、履 物

三 井 百 貨 店

平三・TEL284

友

祝 一 周 年

内郷映画鑑賞クラブ
内郷町宮・第二イッキ劇場内

UCAC

マルトモ書店
マルトモ食堂

興行成績一覽 (自昭和23年4月～至10月)

月週	[平上映々館]	動員人数	[平上東映]	動員人数
4月1週	大地 會根家の朝顔	10781	戀する妻	2341
2	われ泣きぬれて	13269	おすみと持参金の	4824
3	誘結 婚 選 惡手擁抱	16164	今妖第七のベール	7282
4		13694	陽の	3469
5		9592	太	3521
	4月合計	63500	4月合計	21437
5月1週	汚れた花 園男	7686	第二の人生	3660
2	噂 女	13287	キヤラと野	9631
3		8347	美	10128
4	受	9468	法	4087
	5月合計	38788	5月合計	27506
6月1週	カナダの殺人事件	4331	狸紳士登場	5724
2	秘次喜多凸四道中	9174	七ツの月のマドンナ	4788
3	偉大なるX	9785	はこれの歌	6962
4		9515	あ	3434
	6月合計	32805	6月合計	20908
7月1週	彼と共に行きぬ	10018	酔ひどれ天使	8137
2	安城の舞踏會	12745	不死身の魔王	4460
3	夜女の達者	19494	愛の海	4462
4	追跡者	8853	面影	3197
5	オ リンピア	7001	山 師 ボートラン	1787
	7月合計	58111	7月合計	22043
8月1週	色ざんげ	4679	花ひらく七	5080
2	流シキンの拳闘王	5024	黒馬の團	4588
3	駒 鳥 夫 人	15759	我が愛は山の彼方に	7432
4		15480	逢 び	4534
	8月合計	40942	8月合計	21634
9月1週	地の果を行く	6256	カルメル	8328
2	そがれの密會	6843	カウオーター	3460
3	宵女 醫 胡 代 先	6405	唄 祭 百 萬	3656
4		5442	天 の 夕 顔	7955
	9月合計	24946	9月合計	23399
10月1週	武裝警官 隊	9220	肉 体 の 門	9825
2	一寸法師 師	8667	戦 國 群 盜	4700
3	くら海濱 騷 動	6817	新 婚 お 化 屋	2664
4	風 園 女	7179	エノケンの金太賣	3914
5	火 の バ	7670	青 の 恐 怖	3714
	10月合計	39553	10月合計	24817

興行成績一覽 (自昭和23年4月～至10月)

月週	[集上映々館]	動員人数	[世界上映]	動員人数
4月1週	ジエソエ ア	7399	オ リ オ ン 星 座	8629
2	影 な き 殺 人	8971	大山 猫 令 會	9823
3	オクラホマキツ	17757	美 し き 娘 犬	10530
4	育ち行く年	12217	花 嫁 手	6822
5	凸凹寶島騷動	16183		10569
	4月合計	62527	4月合計	46373
5月1週	凡てこの世も天國も	7916	涙を つ な ぐ 恨	7536
2	凸凹お家騷動	8969	手 台 は 子 等	19164
3	胃 を 渡 る 歌	9064	舞 會 の 天 狗	10369
4	海	5477	木	11126
	5月合計	31426	5月合計	48195
6月1週	ラッキーパートナ	5294	土 儀 祭	4671
2	怪 傑 ゴ ロ	11988	親 馬 鹿 大 將	9244
3	姉 妹 と 水 兵	7443	好 色 五 人 娘	7597
4	キャグニーの新聞記者	7743	かくて忍術映画は終りぬ	7735
	6月合計	32468	6月合計	29247
7月1週	ターザンの黄金(10日)	27280	Z の 戦 慄	11056
2	心の旅路	5101	時 の 貞 操 (前)	10646
3	失はれた週末	9210	" (後)	10403
4	新婚第一歩	4176	三 面 鏡 の 恐 怖	9854
5	オーケストラの少女	5400	男 を 裁 く 女	8835
	7月合計	51167	7月合計	50794
8月1週	ニ ユ ー ム ー ン	5108	春 爛 漫 狸 御 殿	9570
2	センチメンタルジャニー	6851	エノケンのビツクリシャツリ時代	11961
3	踊る結婚式	8433	二 十 一 の 指 紋	17873
4	凸凹スパイ騷動	7876	金 色 夜 叉 大 會	3777
	8月合計	23268	8月合計	43181
9月1週	ブルースの誕生	3164	夜のブラットホーム	8557
2	ファイデルフィア物語	3954	五 人 の 目 撃 者	5413
3	海 賊 キ ツ	5902	狙 は れ た 女	6887
4	ミネソタの娘	5731	ぜ つ た い 愛 し て	7824
	9月合計	18751	9月合計	28681
10月1週	アンナとシャム王	6022	管 樂 二 十 の 扉	6651
2	若草人の姉	2459	野 球 狂 時 代	7559
3	三 ターザンの凱歌	2664	殺 す が 如 く	5611
4	戀 愛 放 送	18374	千 姫 御 殿	8307
5	新 モンテクリスト	3124	或 夜 の 冒 険	5565
	10月合計	6599	10月合計	33693

AMPC 業務日誌

AMPC 編集部調査課

月 日 開 催 項 目

- 三、九、一 結成準備會
- 九、一、一 少年の町(鑑)
- 九、一、二 結成大會、美人劇場(鑑)
- 九、一、三 アメリカ交響樂(試)
- 九、一、四 機關誌 AMPC No.1 發行
- 一〇、一、一 アメリカ交響樂(合)
- 一〇、一、二 私の故郷(試)
- 一〇、一、三 AMPC No.2 發行
- 一〇、一、四 ガス燈(試)
- 一〇、一、五 ガス燈(合)
- 一〇、一、六 アメリカ映画展覽會
- 一〇、一、七 AMPC No.3 發行
- 一〇、一、八 アメリカ映画講演會
- 一〇、一、九 戀愛手帖(試)
- 一〇、一、一〇 AMPC 委員會
- 一〇、一、一一 22年度ハストテン銓衡發表
- 一〇、一、一二 AMPC No.4 發行
- 一〇、一、一三 煙の女(鑑)

- 七、一、一 オーケストラの少女(鑑)
- 七、一、二 原稿依頼上京(會長、川崎氏)
- 八、一、一 キネマ旬報 長谷川稔氏と座談會
- 八、一、二 鈴木重吉監督と座談會
- 八、一、三 同上
- 九、一、一 委員會
- 九、一、二 ファイデルフィヤ物語(試)
- 九、一、三 委員會(聚落館)
- 九、一、四 AMPC No.11 發行
- 九、一、五 AMPC NEWS No.2 發行
- 九、一、六 ファイデルフィヤ物語(合)
- 九、一、七 委員會及座談會
- 九、一、八 ミネソタの娘(鑑)
- 九、一、九 アメリカ映画講演會及委員會
- 九、一、一〇 アメリカ映画祭懸賞抽籤發表
- 九、一、一一 原稿依頼、川崎真弓氏上京
- 九、一、一二 委員會(5わき民報社)
- 九、一、一三 若草の歌(試)
- 九、一、一四 委員會及座談會
- 九、一、一五 座談會
- 九、一、一六 戀愛放送(鑑)
- 九、一、一七 AMPC No.12 發行
- 九、一、一八 一周年記念回顧座談會
- 九、一、一九 愛の勝利(試) AMPC NEWS No.3 發行
- 九、一、二〇 我等の生涯の最良の年(試)
- 九、一、二一 第二回總會 AMPC No.13 發行

- 二、四 平警察署に交通整理臺奉贈
- 二、七 「噂の男」ロケ見學
- 二、八 ロケ一行と座談會
- 二、九 AMPC No.5 發行
- 二、一〇 心の旅路(試)
- 二、一一 AMPC No.6 發行
- 二、一二 湖中の女(試)
- 二、一三 モロッコへの道(鑑)
- 二、一四 アメリカ映画講演會
- 二、一五 ジョン・ヘア(試)
- 二、一六 AMPC No.7 發行
- 二、一七 アメリカ映画座談會
- 二、一八 すべてこの世も天國も(試)
- 二、一九 AMPC No.8 發行
- 二、二〇 藏王山其他(鑑)講演
- 二、二一 委員會(機構改革)
- 二、二二 ラッキー・バードナー(試)
- 二、二三 AMPC No.9 AMPC NEWS No.1 發行
- 二、二四 姉妹と水兵(鑑)
- 二、二五 我等の生涯の最良の年(試)
- 二、二六 委員會(マルトモホール)
- 二、二七 委員會及座談會(聚樂館)
- 二、二八 AMPC No.10 發行
- 二、二九 失われた週末(試)
- 二、三〇 失われた週末(合)

皆様の店

大 黒 屋

平 3・電 783

メ イ 美 容 室
メ イ 化 粧 品 店

永 山 安 造
平 市 田 町 68

ペンカメラと
技 術 の 店

飯田カメラ店

平 市 一 丁 目 一

三友社印刷所

藤 田 専 吾
平 市 南 町 六 七

赤井村	草野村	大浦村	四倉町
遠藤敏子	佐藤正	愛川保光	長谷川充男
大槻吉郎	大平芳弘	宇佐美サカエ	遠藤順一
鈴木艶子	(鈴木茂雄)	柳内浩	國田哲應
松平豐浩	沼田鐵夫	北村敏夫	鎌坂哲二
猪狩庄平	熊谷清勝	阿部郁	遠藤隆
好川邊村	渡邊村	川部村	泉村

バ ッ カ ス 銀座通 TEL 702	石 川 印 舗 銀 座 通
-----------------------------------	-----------------------------

A M P クラブ規約

- 一、名稱並に目的
 第一條 本會はアメリカン・モーション・ピクチャークラブ（略稱A.M.P.C.）と稱し事務所を福島縣平市二丁目二六番地山家洋品店内に置き必要に應じ各所に支部を設く
 第二條 本會は會員相互の親睦と文化の交流を計りA.M.P.（アメリカ映画）を通じ、アメリカ文化を探究し、潤いのある日常生活の向上に寄與するを目的とす
 第三條 主として石城地方のA.M.P.愛好者を以て會員とし其の他の地方で本會の趣旨に賛同したるものを名譽會員とす
 第四條 本會に左の役員を置き任期は一ケ年とす但し再任を妨けず
 第五條 會長一名 委員長、副委員長 各一名 委員各若干名を置く
 本會の會議は總會及委員會とし、總會は年一回會長之を招集す、但し必要に應じ臨時總會を開催するものとす、委員會は必要に應じ臨時、委員長之を招集し重要事項を稟議するものとす

- 第六條 本會に顧問若干名を置くことを得、顧問は委員會の推薦により會長之を委嘱す
 第七條 本會に次の如く各部課を設け必要に應じ新設することを得
 一、總務部 企画課、通信課、會計課
 二、事業部 宣傳課、文化課
 三、編集部 調査課、編集課
 各部課に委員若干名を置く、委員は會員の推薦による、但し兼任を妨けず
 三、事業
 第九條 本會はアメリカ映画試寫會（鑑賞會）合評會の開催及びその招待（必要に應じ邦画、フランス映画、イギリス映画、ソビエト映画其他の場合も開催す）
 毎月機關誌の發行、配布、輿論調査を行い必要に應じ文化人の講演會及び親睦會等も開催する
 四、會計
 第十條 會計は委員中二名之を擔當す
 第十一條 本會の會計は會費及寄附による、但し事情により臨時徴収する事が出来る
 入會金不要
 會費 一ケ月二十五圓 以下之に倣う
 五、附則
 第十二條 會員は住所、所屬、團休等變更の際速に事

第十三條 務所迄通知す
 規約の變更は總會の決議に依る、但し緊急已むを得ざる場合は委員會で決議し、會員の承認を得るものとす

第十四條 總會及委員會は總員の過半数で成立し、出席人員の過半数で決議出来る
 第十五條 本規約は昭和二十二年九月十一日より之を實施す

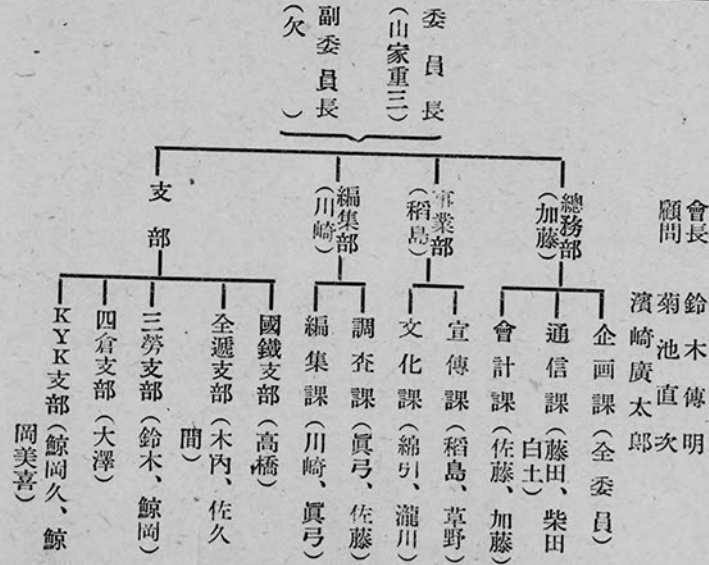
- 註 一、昭和二十三年二月より映画入場料金値上に伴ひ、會費一ケ月三十圓とす
 二、昭和二十三年六月より毎月二回試寫會招待とす
 三、昭和二十三年九月より再び映画入場料金大幅値上に伴ひ、會費一ケ月五十圓とす

×事務所にはA.M.P.C.規約、既刊機關誌、各種映画雜誌等備付してありますから、御自由に觀覽願います。

福島縣平市二丁目二六番地
 （山家洋品店内）
 A M P クラブ
 電話（平）六〇五番

スタッフ

〔A.M.P.C.會員〕



編 集
後 記

企畫變更について

既報通り行けば一周年を迎えて（山家重三）キネマ旬報提供ベストテン一覽表（大正十三年より昭和二十二年迄の二十四年間（川崎五郎）戦後新出版物一覽表（同上）映画文獻史（河津浪年）映画雑誌一覽表（同上）上映番組一覽表（加藤忠之）既刊機關誌目録（編集部）等の文獻特集と一周年回顧座談會を掲載し、キネマ旬報版の素時らしい編集企画でありましたが印刷技術、編集困難、資料不足、期日切迫、資金關係等に煩いされ遂に發行不能の線にまで来て、五度も組替を行わねばならぬ様になりました。會長の言われる第三の試煉かも知れません。そういうわけで表紙三色のイングリット・パーゲマンが一色パーバラ・スタンウィックに變更され、映画紹介若干と會員の原稿も本誌に於て割愛せざるを得なかつたことについて、深くお詫び致す次第です。

表し、理想的な機關誌にしたいと編集部は面目一新してベストメンバーを以て捲土重來の意氣である事を申し上げたいのです。

なをこの機會に本誌創刊號以來ミスが多く、會員の皆様は御迷惑をお掛けしたことを併せて御詫び致します。本來ならば一々訂正文を掲載するのが當然であります。御賢明なる皆様は御判讀して下さる事をお願い致します。編集部には絶對ミスはないのであります。印刷に於て種々の事情によりミスが出来てゐるのであります。くれ共こと機關誌に關しては編集部責任で居りますから、今後共格段の努力をしたいと念願して居ります。

最後にこのさ、やかな私達の雑誌の爲、喜んで寄稿して頂いた東京の諸先生方を始め、常磐印刷所、福島民報社、いわき民報社、それから會員皆様、同人諸君の涙ぐましい迄の御協力に深謝したい氣持で一杯です。率直なる御批判を期待すると共に、今後とも尚一層の御指導と御鞭撻をお願い致します。（編集部）

・編集同人・
川崎五郎
眞弓憲匡
佐藤善一
綿引欣吾
A.M.P.C. 一周年記念特別號 第二卷第一號
昭和二十三年十一月二十日印刷
昭和二十三年十一月二十二日發行
平市外小島町三四
編集人 川崎五郎
發行所 平市仲町一四（電六〇三）
平市二丁目二六（電六〇五）
印刷兼發行所 A.M.P.C. 發行所

財団法人
日本交通交 社所
平 案 内
TEL 1035

想ひ出の店
— リ ラ —
新田町角

瀧川電氣商會
平 市 仲 町
電話 五八三番

帽子と化粧品のお店
エンドウ洋品店
平市二丁目二
電話 1028番

福山馬具店
平 2 TEL 317

平市レクリエーション協會
事務所 平市田町48
電話 532番

カメラと材料は
茂木カメラ店へ
平和通り

印章彫刻 事務用品
綿引印刻店
TEL 411

なかや洋服店

平市三丁目
電話二〇三番

大和炭礦株式會社

社長 鈴木傳明

平市仲町一四
電話六〇三番

公

磐城海產物市場

平市大工町二二
電話四〇七番
電話四四八番
取引 略
銀行 一七
邦 七、常陽

ヤマカ 洋品店
運動具

平市二丁目二六
電話六〇五番

オルガン
ハーモニカ
ギター
ヴァイオリン
樂譜

菊屋樂器店

平市二丁目角

・樂器とレコード・

天地堂

平和通 TEL 589

(喫茶) (輕食)

福壽軒

TEL 26

・おもちゃの店・

いづみや

飯田林一郎
驛前電 348

平建設興業

株式會社

事務 片寄傳右衛門
平市仲町6電(呼)906

高澤カメラ店

平市田町

静かで家族的サービス

甲陽館

中央通・電 148

平海產物共同組合

平4電 213・734

石炭三六〇〇萬トン

増産完遂！

平石炭局
配炭公團常磐支團
東部石炭鑛業連盟
常磐石炭株式會社
常磐石炭助成株式會社

9

KAMAYA

常磐交通自動車株式會社

本社 平市田町二 電三四三・四二三番

取締役社長	野崎	滿八	藏郎
専務取締役	野崎	喜重	雄夫
常務取締役	芹澤	重理	
總務部長	野崎		

速確
迅正

——地方文化の尖端を行く——

常磐印刷所

平市カジ町 電話 246 番

炭 礦 機 械
舶 用 機 關

株式會社

平製作所

平市堂前4 電話 41 番

磐城スポーツ連盟

平市田町六八
電話 四八番

株式會社
藝術俱樂部

東京都中央區橫山町四伊部ビル
電話（茅場町）二六八〇六

取締役社長 鈴木傳明
専務取締役 三上訓利

彈巨の名作する機待

十二月番組

第一週
我等の生涯の
最良の年（續映）

第二週
海の魂

第三週
ゾラの生涯

第四週
マーガレットの旅
浮世はなれて

聚樂館

電話 470

専門
洋畫